

■各対策のバーチャート【荒川水系(東京ブロック)流域治水プロジェクト】			短期	中期	中長期
対策区分	実施主体		直ちに検討、必要な対策を調整のうえ実施	短期的に検討、必要な対策を調整のうえ実施	継続して検討、必要な対策を調整のうえ実施
1.氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策					
(1)洪水氾濫対策					
①堤防整備、護岸整備等	国都				
②河道掘削	国都				
③橋梁架替	国都				
④調節池整備	都				
⑤超過洪水対策	国				
(2)内水氾濫対策					
①下水道の雨水貯留施設の整備	都市町				
②下水道の排水施設の整備	都市				
(3)流域の雨水貯留機能の向上					
①校庭貯留	都区市				
②雨水貯留浸透施設の整備 (建物内の雨水貯留施設、住宅等における各戸貯留)	都区市				
③透水性舗装	都区市				
④一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置義務づけ、指導	都区市町				
⑤自然地の保全	都市				
⑥グリーンインフラ整備(公園緑地の整備、施設の緑化等)	都区市				
⑦道路下の雨水貯留浸透施設	市				
2.被害対象を減少させるための対策					
(1)水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫					
①高台まちづくりの推進	国都区				
②住宅高床化	区				
③庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進 (耐水化、電気設備の嵩上げ、止水板の設置)	区市				
④避難施設等の整備、確保(避難路、避難所等)	区町				
3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策					
(1)避難体制等の強化					
①ハザードマップの改良、周知等	国都区市町				
②タイムラインの策定・運用	国都区市				
③防災教育や防災知識の普及	国都区市				
④排水計画作成及び訓練の実施	国都区				
⑤災害に備えた家庭内の食料備蓄の推進	国区				